HITACHI
Inspire the Next

日立高機能モートルブロック

2t/2.8t/5t （電気チェーンブロック）

Debut!

Super F Series

業界最高レベルをめざした、速度、耐久性。

機械工場で、車両工場で、倉庫で、さまざまな荷役運搬業務で活躍し続ける
日立産機システムのモートルブロックがさらに機能向上しました。
当社従来機種に比べ、高速性、安全性、耐久性、メンテナンス性が大きく向上。
もっと使いやすく、もっと便利に。さまざまな現場の多彩な荷役運搬作業の効率化、
安全性の向上を、強力にサポートいたします。

■実績とラインアップ

Super Functions

Super 1 巻上高速化の実現 Speedy

2.8t 1本掛け/5t 2本掛けにより、**巻上速度が40%(2.8t)/25%(5t)**※1**UP**しました。
※1：当社Fシリーズ比

Super 2 安全性向上の実現 Safety

メカニカルブレーキと電磁ブレーキを併用した、信頼性の**二重ブレーキ機構**。
異常荷重巻上防止機構(スリップクラッチ)採用で、異常荷重の巻き上げを防ぎます。
電動トロリ落下防止機構を標準装備しました。

Super 3 耐久性向上の実現 Strong

負荷時間率、最大始動頻度向上の実現。
耐久性で高頻度使用にも優れたパフォーマンスを持続します。
防塵・防噴流形の保護構造(IP55)に準拠しています。

Super 4 取扱性向上の実現 Smooth

インバータ制御によりクッションスタート・ストップ操作でさらに使いやすく。
フック開口部UPにより玉掛け性向上。

Super 5 メンテナンス性向上の実現 Simple

電気部品をスイッチケースに集約してメンテナンス性を向上しました。
ケーブルの着脱を容易にする**ワンプッシュロックタイプのコンセント**を採用し、さらに使いやすく。
アルミダイカストボディによる、日立独自のユニット構造を実現しました。

信頼性を追求した、充実の機能設計。

Super F Series

■標準仕様

電　源	200V 50／60Hz、 220V　60Hz	
操作方法	床上押ボタン操作(非常停止ボタン付)	
操作電圧	24V	
給電方式	キャブタイヤケーブル給電 ・懸垂形、鎖動トロリ付きは、 給電ケーブル5m付属 ・電動トロリ付きは給電ケーブル不付き	
標準 押ボタン	3点	STOP、↑↑、↓↓
	5点	STOP、↑↑、↓↓、左、右
	7点	STOP、↑↑、↓↓、東、西、南、北
塗装色(マンセル記号)	オレンジ(2.5YR　6／12)、黒(N1.0)	
保護構造	IP55、 押ボタンIP65(水抜き穴をふさぐ)：屋内型	
反復定格 (負荷時間率と最大始動頻度)※	高速　30%ED、90回／時 低速　15%ED、180回／時	
準拠規格	JIS　B8815「電気チェーンブロック」、 クレーン構造規格	

※定格荷重の63%荷重時の値を示します。(JIS B8815)
※短時間に集中して使用する場合でも、1時間あたりの平均値を超えないようにしてください。

■形式の説明

●懸垂形の場合

2.8	SFN	H
①	②	③

●トロリ付きの場合

2.8	SFN	H	—	SFTN
①	②	③		④

①定格荷重(t)、②巻上部機種、③揚程(6m以上時“H”)、
④トロリ部機種(SFTN)(SFN形専用トロリ)

■用途例
特にこんな所で威力を発揮します

製品の特長	メリット
巻上速度の高速化	高揚程での作業時間短縮
クッションスタート･ストップ運転	つり荷の振動を低減
過負荷を防止するための装置付き	ジブクレーンに対応
使用率の向上	高頻度環境に対応
保護階級の向上	さまざまな環境に対応
収納器の変更により特殊揚程対応	12~20m等ホイスト揚程を補完
フック位置が一定	フック位置固定作業に対応
高速、低速切換え運転	低速運転によるつり荷の振動低減

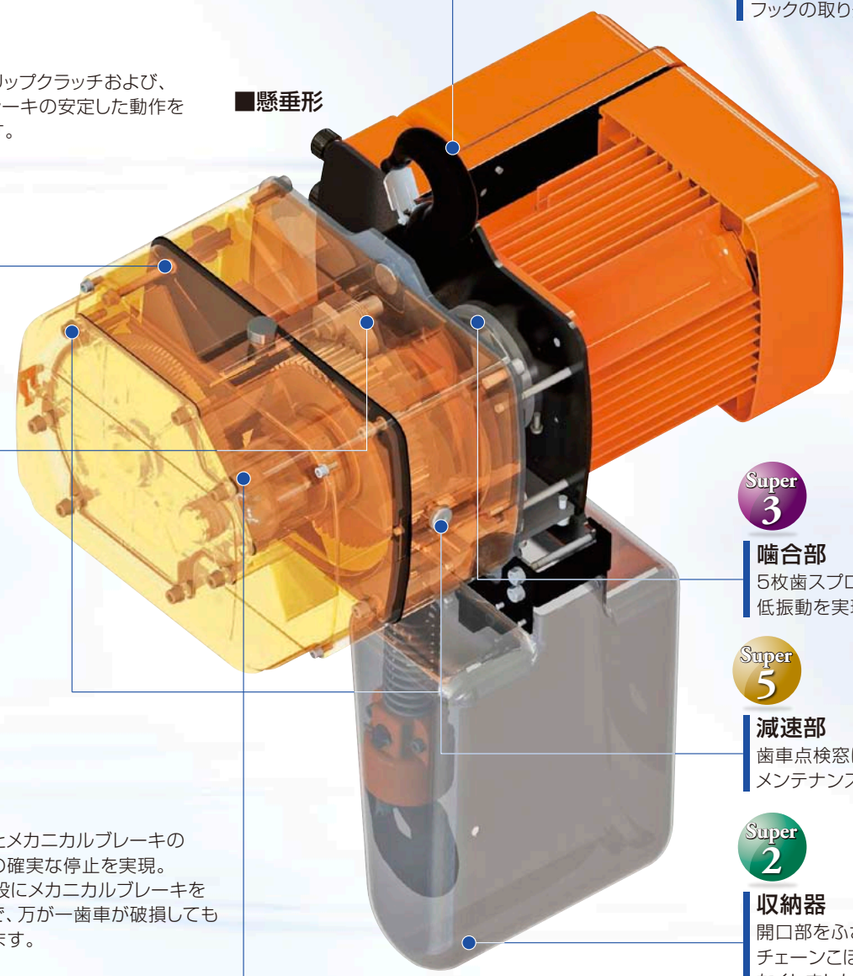
あなたのニーズがここにあります!! 日立 Super F Series

Simple

Super 5
ケーシング
アルミダイカストボディの
堅牢な構造です。
ユニット構造により、メンテナンス性が
向上しました。

Super 3
オイルバス
低騒音化とスリップクラッチおよび、
メカニカルブレーキの安定した動作を
実現しています。

■懸垂形



上フック
本体との連結がピン方式のため、
フックの取り外しが容易です。

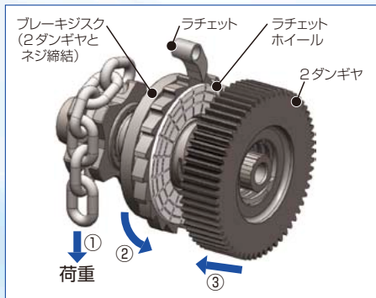
Super 3
噛合部
5枚歯スプロケットにより、
低振動を実現しました。

Super 5
減速部
歯車点検窓により、
メンテナンス性が向上しました。

Super 2
収納器
開口部をふさぐことで、
チェーンこぼれの心配を
なくしました。

Super 2
ブレーキ
電磁ブレーキとメカニカルブレーキの
併用により荷の確実な停止を実現。
また最終減速段にメカニカルブレーキを
配置することで、万が一歯車が破損しても
荷重を保持します。

Super 2
スリップクラッチ
異常荷重時やチェーン異常時には、
モータを空転させ運転を停止します。



①荷重付加

②ブレーキジスクが回転

③2ダンギヤがラチェット
ホイールを押付ける方向に
ネジ締めされる(ブレーキ力)

ラチェットホイールが2ダンギヤ
とブレーキジスクに押付けられて
一体となりラチェットにより固定
されて荷重を保持

Safety

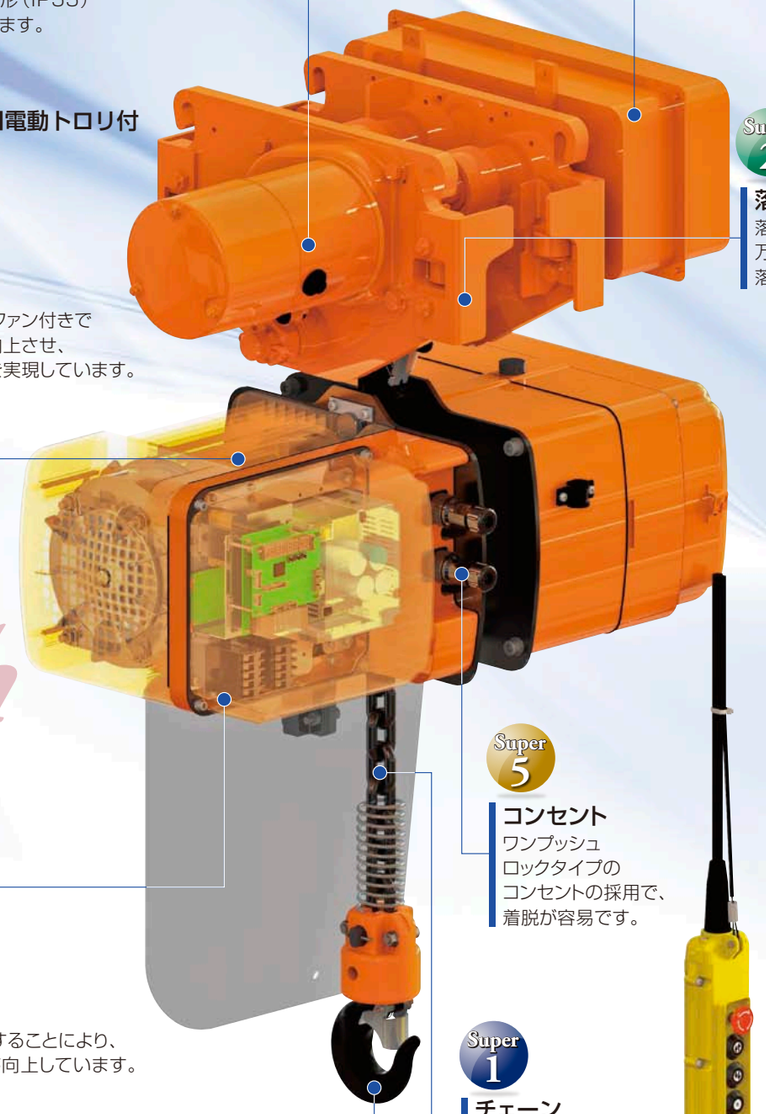
Strong

Super 3
モータ・制御部
保護構造
防塵・防噴流形(IP55)
に準拠しています。

Super 3
トロリモータ
高頻度対応を
実現しています。

Super 4 **Super 5**
制御部(横行)
電気部品を集約することにより、
メンテナンス性が
向上しています。

■電動トロリ付



Super 2
落下防止金具
落下防止金具により、
万が一の車輪破損時の
落下を防止します。

Super 3
モータ
フィン、外扇ファン付きで
冷却性能を向上させ、
高頻度対応を実現しています。

Super 4 **Super 5**
制御部
電気部品を集約することにより、
メンテナンス性が向上しています。

Super 5
コンセント
ワンプッシュ
ロックタイプの
コンセントの採用で、
着脱が容易です。

Super 1
チェーン
φ11.2チェーンにより
2.8t(3t)の1本掛け、
5tの2本掛けを実現しています。

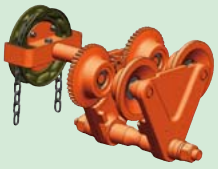
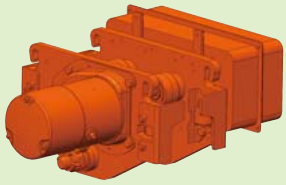
Super 4
下フック
開口部寸法を拡大し、
玉掛け性が向上しました。

Smooth

Speedy

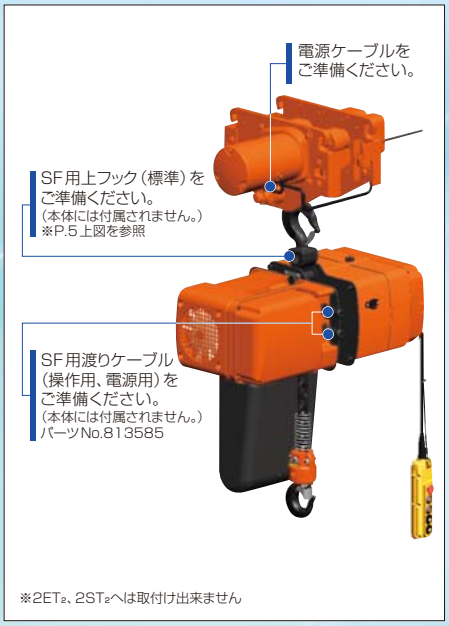
トロリとの組み合わせに関する注意事項

■使用形態と機種（コンポ）選定方法

使用形態		本体コンポ	上フックコンポ	トロリコンポ	押ボタンケーブル
懸垂形			上フック（標準）	—	3点押ボタン
トロリ付	鎖動トロリ		上フック（90°直角形）	鎖動トロリ  ※上フックは90° 直角形を必ずご使用ください。	
	電動トロリ			電動トロリ 	5点・7点押ボタン

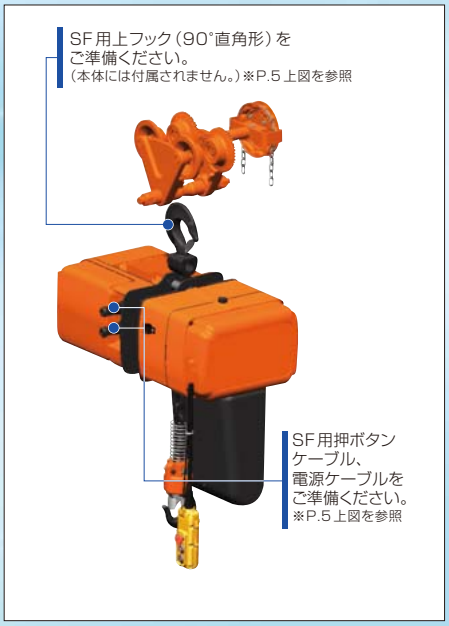
■電動トロリSFTNとの組み合わせで、ご使用の場合

■既設電動トロリ（ET₂、ST₂）との組み合わせで、ご使用の場合



※2ET₂、2ST₂へは取付け出来ません

■鎖動トロリ（BC（H））との組み合わせで、ご使用の場合



■仕様表

定格荷重（t）			2	2.8	5
形　式		巻上部	2SFNH	2.8SFNH	5SFNH
		横行部	3SFTN		5SFTN
標準揚程（m）			6		6
巻上	速度（m/s）	高速	0.142（8.5）	0.117（7.0）	0.070（4.2）
		低速	0.035（2.1）	0.03（1.8）	0.018（1.1）
	モータ（kW）	高速	3.0	3.7	
		低速	0.75	0.9	
		極数	4		
横行	速度（m/s）	高速	0.417（25）		
		低速	0.105（6.3）		
	モータ（kW）	高速	0.7		
		低速	0.18		
		極数	2		
電　源（三相）			200V 50/60Hz、220V 60Hz		
操作回路電圧（V）			24		
リンクチェーン		線径	11.2		
		掛数	1		2
反復定格	巻上部	高速	30%ED、90回/時		
		低速	15%ED、180回/時		
	横行部	高速	30%ED、90回/時		
		低速	15%ED、180回/時		
等級（JIS B8815）			M5	M4	
適用ビーム幅（mm）			100	100	125
			125	125	150
			150	150	175
操作方式			床上押ボタン操作（非常停止ボタン付）		
	押ボタン文字		STOP、↑ ↑、↓ ↓、左、右		
保護階級（JIS C4034-5、C0920）			IP55		

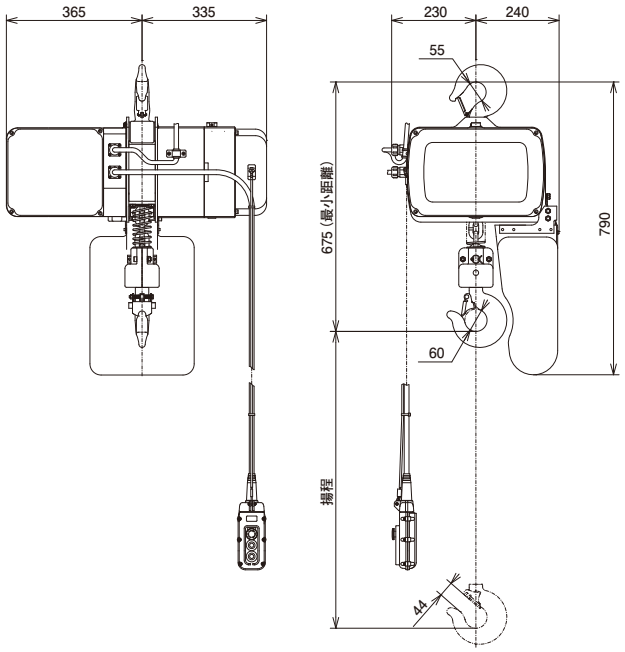
ご注意：1. 巻上、横行速度の（ ）内はm/min換算値を示します。　2. 適用ビーム幅の　は出荷時の大きさを示します。
3. 仕様表に記載してある数字は変更する場合があります。　4. つり上げ荷重は上表の定格荷重に記載のロードブロック質量を加えてください。

懸垂形、電動トロリ付（寸法図）

■寸法図

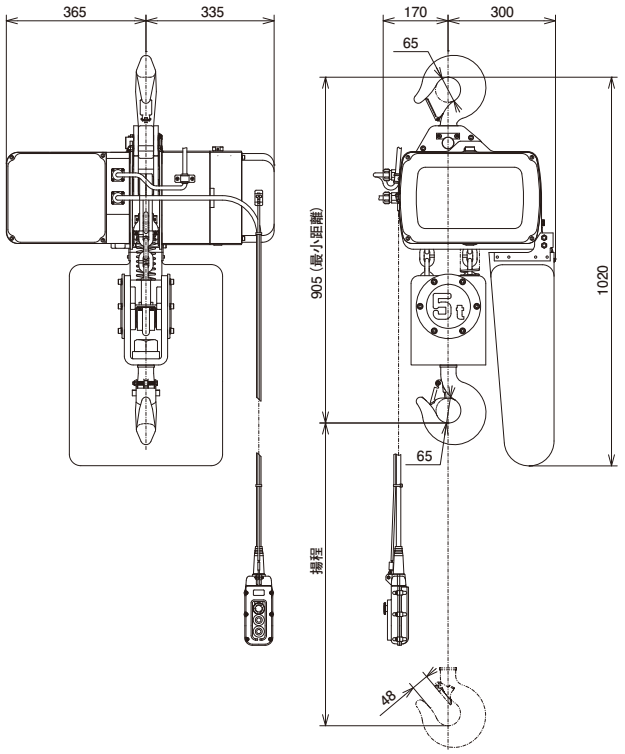
懸垂形

2t、2.8t



概略質量：135kg

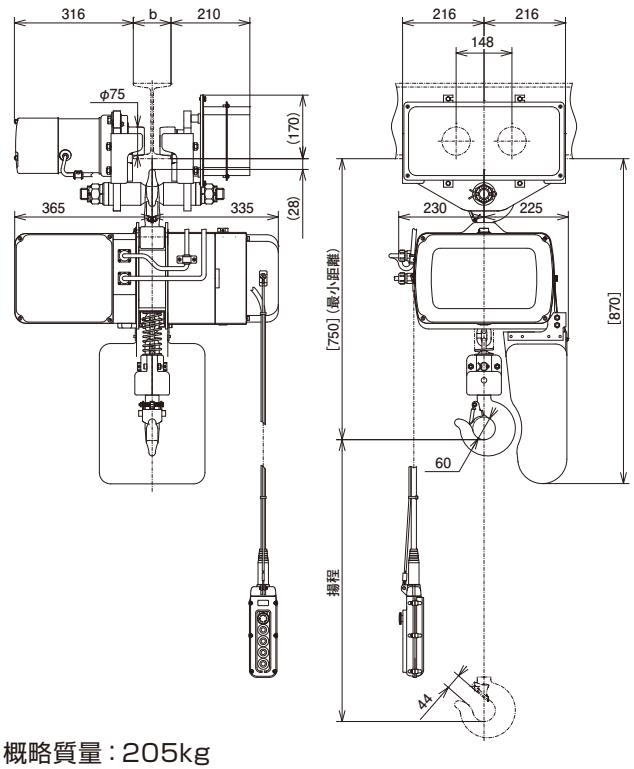
5t



概略質量：180kg

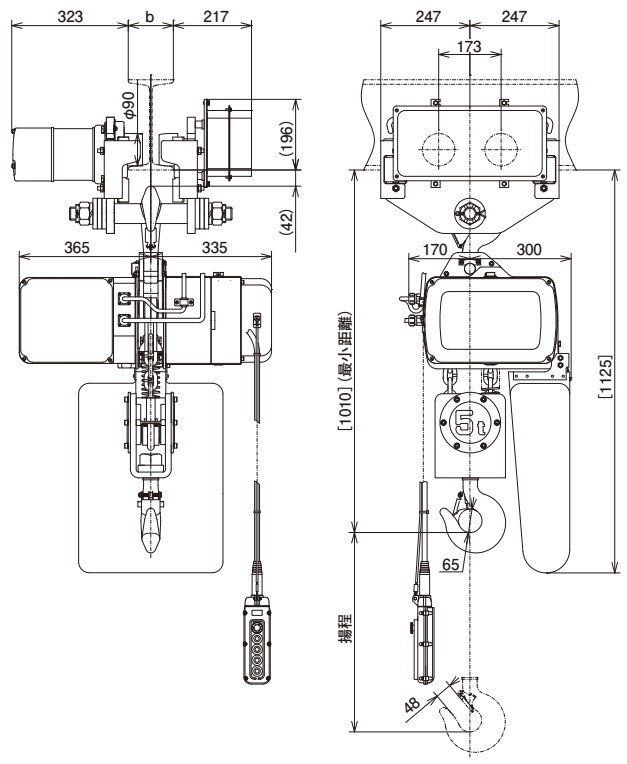
電動トロリ付

2t、2.8t



概略質量：205kg

5t



概略質量：275kg

ご注意：1. 寸法図に記載してある数字は変更する場合があります。 2. 寸法図は定格荷重を吊った状態を示します。 3. 記載してある数字は揚程6mの場合を示します。
4. フック部寸法は9ページをご参照ください。 5. [ ] 寸法は適用ビーム幅のうち最小ビーム幅の場合を示しています。ビーム厚みにより若干変わりますのでご留意ください。
6. b寸法は適用ビーム幅を示します。 7. 2t巻上機は電動トロリ付きの場合、3tトロリとの組み合わせになります。(SFシリーズ)
8. 電子部品を搭載していますので、横行用・走行用のストッパには必ず緩衝材を取付けるか、緩衝機構を設けてください。

■専用モートルブロック

項　目	内　容
電子式リミットスイッチ	フック位置を検出し、巻上/巻下運転を自動的にクッション停止
外部接点出力	動作、異常状態等をリレーにより出力
特殊電源	【50Hz】380V、400V、415V 【60Hz】400V、440V
電源入切押ボタン付	操作回路電源入切、主回路電源入切（MgSW付/不付）
揚程延長	最大揚程 50m（2t、2.8t）、25m（5t） ※ 17m以上：収納器別吊構造（2t、2.8t）、9m以上（5t）：収納器別吊構造
操作電圧変更	200V
特殊チェーン	ハイメッキチェーン（無電解ニッケルメッキ） NCチェーン（金属拡散浸透処理）
二点吊り	荷の水平を保持して巻上げることができます。
ローヘッド形	できる限り上方まで荷を上げたい作業に適します。
絶縁階級向上	標準品はB種ですが、F種絶縁（モータのみ）も可能です。
熱帯処理追加	モータのワニス処理を2回行い対処するものです。
上フック直結形	トロリと巻上げ本体をアイフックにて直結したものです。
特殊塗料	耐塩塗装、耐酸塗装について製作可能です。
鋼板製収納器	プラスチック製が標準ですが、鋼板製も製作します。
Iビーム一段上	SFT形トロリのIビーム幅を標準の1段上に対応します。
サーマルプロテクタ付	モータの焼損防止用としてサーマルプロテクタ付きも製作いたします。

■揚程変更（延長）

●標準的に下表の範囲で揚程を延長できますのでご用命ください。
●条件によっては下表以上も可能ですのでご照会ください。

注）①チェーン収納器は誤って小さいサイズのものを用いるとチェーンがあふれたり、故障の原因になるので絶対に避け、
表1に示す通りか、または大きめの収納器を使用すること。

表1　揚程別、収納器サイズ一覧表

形式	定格荷重	揚程（m）																	
		3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
SFN	2t、2.8t	SF①								SF②						鋼板			
	5t	SF①			SF②					鋼板									

■押ボタン（非常停止ボタン付）

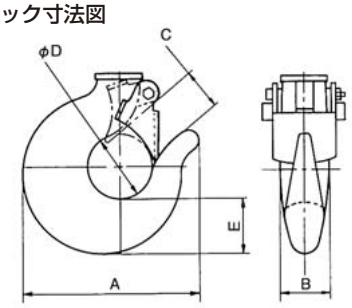
非常停止ボタンは操作回路を遮断するものです。また、インバータトリップを復帰させることができます。

※一部インバータトリップには、電源を遮断しないと復帰できないものがあります。

■フック寸法・ロードブロック質量・チェーン質量

形　式		2SFN（H）、2.8SFN（H）	5SFN（H）
上フック寸法（mm）	A	154	180
	B	42	55
	C	44	48
	D	55	65
	E	46.5	56.5
下フック寸法（mm）	A	161	182
	B	42	55
	C	44	48
	D	60	65
	E	43	56.5
ロードブロック質量（kg）		6.0	28
チェーン質量（kg）	チェーン1m当り	2.8	2.8
	揚程1m当り	2.8	5.6

■フック寸法図



■電流値一覧表

単位（A）

形　式	200V、50Hz	200V、60Hz	220V、60Hz
2SFN（H）	17/6	16/6	15/6
2.8SFN（H）	21/8	20/8	19/7
5SFN（H）	23/8	20/8	19/7
3SFTN	1.9/1.2	1.8/0.9	1.7/0.8
5SFTN	3.1/1.5	2.9/1.2	2.7/1.2

■給電ケーブル許容長さ

標準仕様の場合の給電ケーブル長さは下表の通りです。給電ケーブルまたは中継ケーブルを延長する際は下表を参照のうえ、選定ください。

単位（m）

形　式	ケーブルの断面積				ヒューズ容量（A）	
	2mm²		3.5mm²			
	巻上単独運転	電動トロリ同時運転	巻上単独運転	電動トロリ同時運転	巻上単独運転	電動トロリ同時運転
2SFN	17	13	30	23	40	40
2.8SFN						50
5SFN						

※長さは、電圧ドロップがケーブルのみで発生するものとし、降下量を20Vとして算出してあります。（電源200Vの場合）

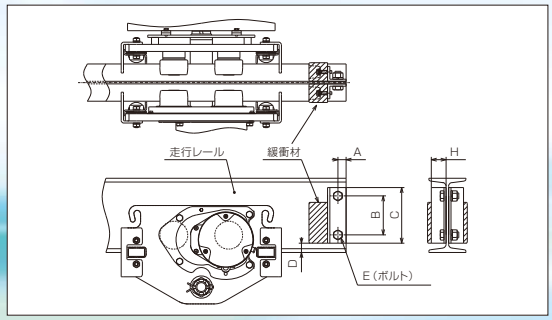
■ストッパ取り付け方法について

①ストッパ

トロリを走行レールに取り付けたあとはトロリ落下の危険防止のため、走行レールの端には必ずストッパを取り付けてください。

■トロリをストッパに衝突させて止めるような使い方は避けてください。

■ストッパは走行レールと色を変えると目立って衝突防止に役立ちます。



②緩衝材

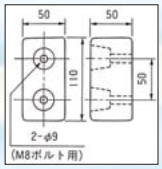
ストッパにトロリが衝突したときに衝撃を緩和させるため、ストッパにはゴムなどの緩衝材を取り付けてください。

なお、ゴムダンパとして右図のものがありますのでご利用ください。

単位（mm）

機種	5t			
	2t、3t			
I形鋼	200×100×7	250×125×7.5	300×150×11.5	450×175×11
山形鋼	50×50×6		65×65×6	
A	22		30	
B	105	110	160	280
C	150	190	200	360
D	25	30	50	45
E	M16		M20	
H	40※	50	60※	65

※山形鋼をH寸法に加工してご使用ください。



［部品名］
TR-1　ダンパ
（サービス部品コード
846117）

■電源強調・力率改善用交流リアクトル

電源電圧の不平衡率が3%以上、電源容量が500kVA以上、急激な電源電圧の変化が生じる場合は交流リアクトルを電源一次側に設置してください。

形　式	電源電圧	適　用
ALI-□□L2	200V級	（□□…2t～5t：11）
ALI-□□H2	400V級	（□□…2t：5.5　2.8t～5t：11）

■ノイズに関する注意事項

設置条件により、ご使用中、近くにテレビ、ラジオ、計器等がある場合、映像、音声の乱れ、誤動作の生ずる場合があります。

このような場合には、下表に示すノイズフィルタの設置をお奨めします。

名　称	形　式	機　能	備　考
ラジオノイズフィルタ	ZCA-A（200V級） ZCL-B（400V級）	電源線からの放射ノイズ（ラジオノイズ）を抑制、テレビ、ラジオへの電波障害軽減、計器等の誤動作防止。	全容量共用
ノイズフィルタ	NF-L□□□（200V級）	インバータから発生するノイズの低減。同じ電源線につながる計器等の誤動作防止。（□□□…2t～2.8t：30、5t：40）	入力側設定
	NF-H□□（400V級）	インバータから発生するノイズの低減。同じ電源線につながる計器等の誤動作防止。（□□…2t：10、2.8t～5t：20）	

■給電について

●ケーブル給電の場合

走行距離が短く、しかも直線の場合はケーブル給電が便利です。

ケーブル処理にはケーブルハンガーを使ってカーテン式にする方法とケーブルリールを取付けてケーブルを巻き取る方法があります。

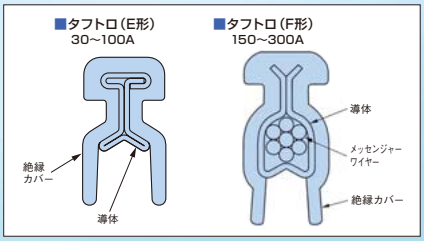
●絶縁トロリ給電の場合

<日立タフトロの架設>

感電防止の安全トロリ「日立タフトロ」は、裸トロリ線にかわってご使用いただけます。

- ●電　　源／600V以下
- ●電流容量／30A～100A（E形）　150A～300A（F形）
- ●仕　　様／標準（高温および耐食：F形）
- ●標準長さ／15m、30m、45m、60m、80m、100m（300Aは注文生産）
- ●支持間隔／端末張力式　　6m以下
  端末非張力式　1.5m以下（F形）
  曲　線　部　　0.5m以下
- ●コレクタ（集電子）／30A、60A、100A

（注）タンデム使用ができます。横向きにはカウンタバランスが必要です。



簡易リフトには、次のような規制がありますので必ず守ってください。

ホイスト・モートルブロックは人を運搬する装置には使用できません。

・**簡易リフト**：ガイドレールに沿って昇降する搬器に載せて、**荷のみ**を運搬することを目的とする機械装置のうち、**搬器の床面積が1m²以下、または天井の高さが1.2m以下のもの（建設用リフトを除く）をいう。**（令 1）
※搬器の床面積が1m²を超え、かつ天井の高さが1.2mを超えるものは「エレベータ」とみなされ、モートルブロックを昇降装置として使用できません。
・**積載荷重**：モートルブロックの定格荷重から搬器の重量を差し引いた荷重をいう。（令 12）
・**積載荷重が250kg以上の簡易リフトを設置しようとする事業者は、設置報告書を所轄労働基準監督署長へ提出すること。**（安202）
・簡易リフトは「簡易リフト構造規格」を具備し、事業者はこれに適合した状態に保持すること。（法 42）（安衛則27）

・**簡易リフトを設置したときは、荷重試験（積載荷重の1.2倍）を行うこと。**（安203）
※点検等で搬器に入る場合は、必ず搬器が着床している状態で行ってください。
・**1年に1回、全部の自主検査、**および荷重試験（積載荷重）を実施のこと。（安208）
・**月例自主検査を実施**のこと。（安209）
・**作業開始前の点検を実施**のこと。（安210）
・自主検査の記録を**3年間保存**のこと。（安211）
・自主検査を行った場合に、異常があれば直ちに補修のこと。（安212）

・モートルブロックの取り付け位置は、搬器を最上部まで昇降させたときに、ロードブロックの中心がモートルブロックの取り付け中心となるように取り付けること。

・簡易リフトは搬器ごとに原動機、制御装置、および巻上機を備え、巻上機にはブレーキを備えること。（構 8,9）
・**巻上げチェンの安全係数は5以上とする。**内長で5%以上伸びたもの、線径で10%以上磨耗したものは交換すること。（構 18）
・機械部分のボルト、ナット、ねじ、キーピンなどはゆるみ止め、または抜け止め施工のこと。（構 16）

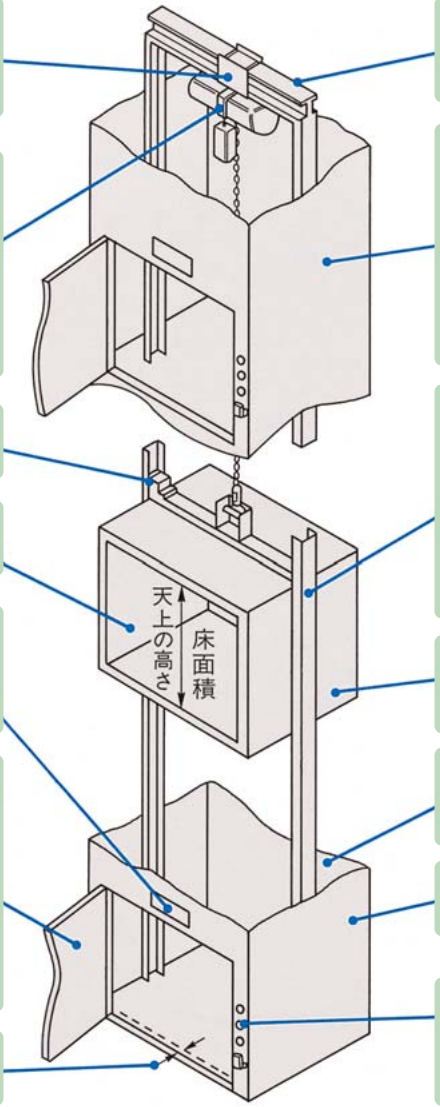
・**搬器にはローラなどの案内装置を取り付けること。**

・**事業者は搬器に労働者を乗せてはならない。また、労働者は搬器に乗ってはならない。**（安207）

・積載荷重を各階積み降ろし口に明確に表示すること。（構 19）
・事業者は、積載荷重を超える荷重をかけて使用しないこと。（安205）

・**昇降路の荷の積み降ろし口には、安全な戸を設けること。**（構 1）
・昇降機のすべての荷の積み降ろし口の戸が閉じていない場合には、搬器を昇降させることができない装置とすること。
また、昇降路の荷の積み降ろし口の戸の位置に搬器が停止していない場合には、かぎを用いなければ外から戸が開かない装置とすること。（構 13）

・**昇降路の荷の積み降ろし口の床先と、搬器の床先との間隔は、4cm以下とすること。**（構 5）



・**積載荷重が500kg以下で、揚程が10mを超えるものは、支持はりを鉄骨または鉄筋コンクリート造りとすること。**（構 2）

・**安全装置（巻きすぎ防止装置、上・下限リミットスイッチなど）は必ず備えること。また調整しておくこと。**（安204）（構 13）
※ここでいう安全装置とは、モートルブロックに内蔵のリミットスイッチではなく、別置のリミットスイッチなどのことです。なお、リミットスイッチを別置しても、モートルブロック内蔵のリミットスイッチは絶対に撤去しないでください。

・**積載荷重が500kg以上で、揚程が10mを超えるものは、ガイドレールを鋼製とすること。**ガイドレールは取り付け金具にて昇降路に確実に取り付けること。（構 3）
※ガイドレールが確実に取り付けられていないと、搬器がガイドレールの途中で引っ掛かり、リンクチェンに無理な力がかかる場合があり、大変危険です。

・**搬器の荷台は、荷の積み降ろし口を除いて周囲に囲いを設け、内部に運転装置を設けないこと。**（構 4）

・昇降路には、運転のため必要でないチェン、配線、パイプなどをその内部に設けないこと。（構 1）

・**昇降路の荷の積み降ろし口を除いて、壁または囲いを設けること。**（構 1）

・**事業者は、運転について一定の合図を定め、労働者にはこの合図を厳守させること。**
「合図」とは、信号灯、ブザー、電声管などの音声などによるものをいう。（安206）

ご注意：（　）内の数字は法令の条数を表わし、法令名の略称は次のとおりです。なお、詳細は各法令条文を参照してください。
㊟：労働安全衛生法　㊟令：労働安全衛生法施行令　安衛則：労働安全衛生規則　㊟安：クレーン等安全規則　㊟構：簡易リフト構造規格

⚠安全に関するご注意

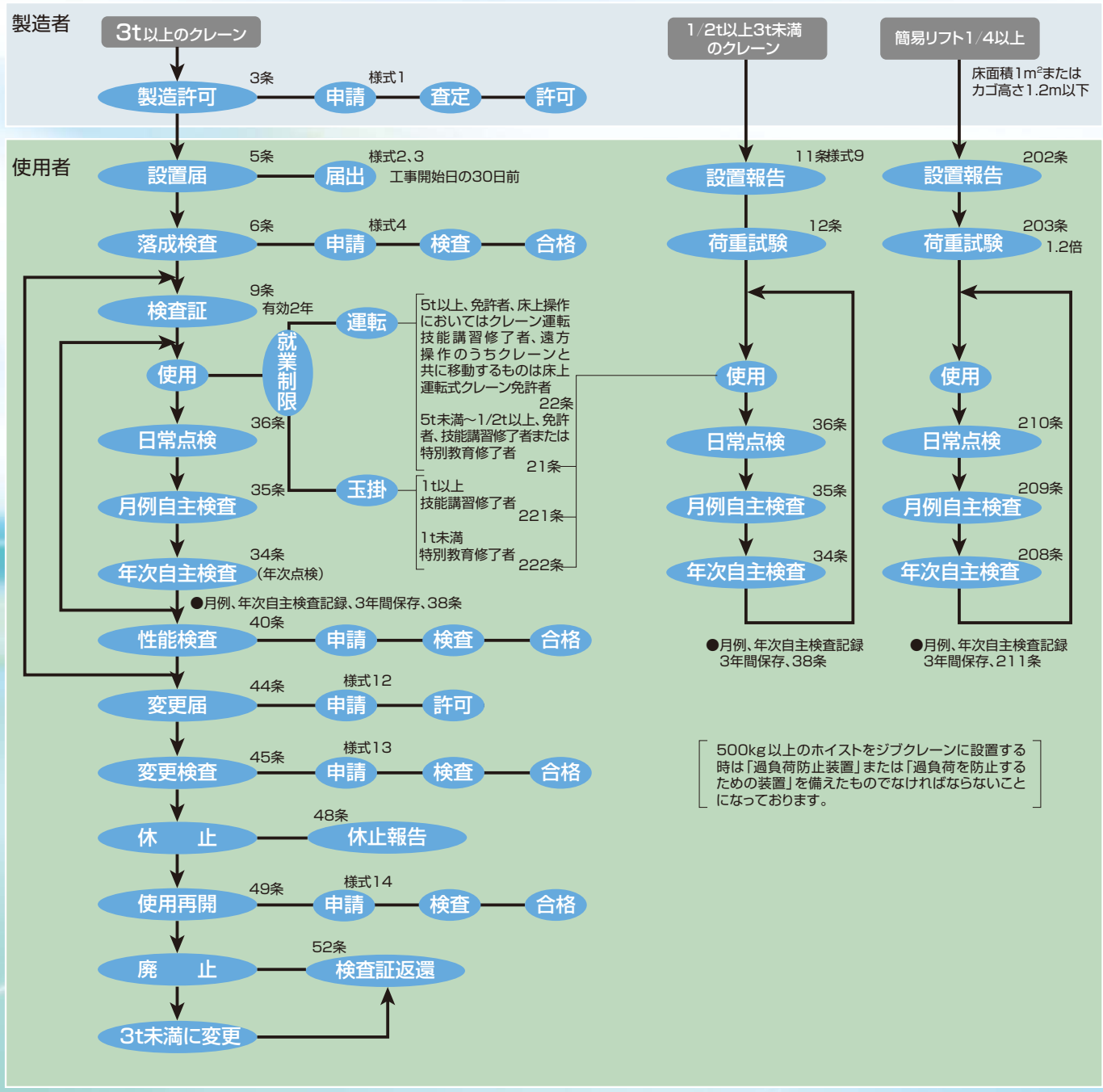
●以下にご購入時およびご使用時の注意事項を示しますので、必ずお守りください。
なお、ご使用の前には、製品に付属の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●このカタログは、日本国内でご使用になる製品について記載してあります。

■規制を受ける法令について

ホイストクレーンの製造、設置、運転などを行う場合、所轄の労働基準監督署長（製造許可の場合は労働局長）への届け出および資格がクレーン等安全規則により義務づけられています。

■クレーン等安全規則



■運転資格のない人、特別教育を受けていない人、玉掛け技能講習を受けていない人にはクレーン操作、玉掛け業務を行わせないでください。

※特別教育とは、「クレーン等安全規則第21条」に定められているもので、クレーンに関する知識、電動機及び電気に関する知識、関係法令等を一定の時間受ける教育をいいます。

■運転操作資格者の条件

	つり上げ荷重		
	0.5t未満	0.5t以上5t未満	5t以上
(A) 床上操作	一般の者 ㊤ ㊦ ㊧ ㊨	一般の者 ㊤ ㊦ ㊧ ㊨	㊦ ㊧ ㊨
(B) 跨線テルハ			㊤ ㊦ ㊧ ㊨
(C) 遠方操作 (クレーンと共に移動しないもの) または運転室(台)付き			㊧
(D) 遠方操作 (クレーンと共に移動するもので押ボタンスイッチがメッセンジャー式あるいはクレーンガーダの一部と固定)			㊨ ㊧
適用条文 (クレーン等安全規則)	第21、22条		

㊤……就業時事業者よりクレーンおよび玉掛けに関する特別の教育を受けた者
㊦……職業訓練法にて訓練を受けた者
㊧……玉掛け技能講習修了者
㊨……クレーン運転士免許の所持者
㊦……床上操作式クレーン運転技能講習修了者
㊨……床上運転式クレーン運転士免許の所持者
(クレーン等安全規則改正による、平成10年3月31日より施行)

■玉掛け業務資格者の条件

	つり上げ荷重		
	0.5t未満	0.5t以上1t未満	1t以上
玉掛け	一般の者	㊤ ㊦ ㊧	㊦ ㊧
適用条文 (クレーン等安全規則)	第221、222条		

ご注意：床上操作であっても、操作者が荷の移動とともに移動しない場合は、左表の(C)の適用をうけます。
(例：押ボタンスイッチを、壁などに固定して使用する場合)

■法的構造の規制について

●ホイストは、エレベーターの巻上げ機に使用することができません。また、人が荷の上に乗ったり、乗って作業する用途には使用できません。
●簡易リフトとして使用される場合は、法定設置方法を必ず守ってください。

■機種仕様の選定について

●機種の選定に際しては、カタログに記載された仕様を確認のうえ行ってください。
記載された仕様と異なる場合にはご相談ください。また、記載された仕様以外では、使用しないでください。

■改造の禁止について

●使い方に合わせて、ホイスト本体や付属品を改造することは絶対にしないでください。特にリミットスイッチ及び回路の変更は絶対に行わないでください。

■据え付け、取り付けについて

●据え付けは、専門業者、専門知識のある人以外は、絶対行わないでください。
●雨や水がかかるなどカタログに記載した仕様以外の環境には据え付けしないでください。
●必ず、アース工事を行ってください。また、アースのほかに漏電遮断器を取り付けてください。
●横行および走行レール端には、必ずストッパを取り付けてください。
●ホイストを設置する場所に十分な強度があることを確認してください。

■使用上の規制について

ご使用にあたって下記事項を必ずお守りください。
●定格荷重を超える荷は絶対に吊らないでください。
●吊った荷に人は乗らないでください。
●荷を吊ったまま放置しないでください。また、常時、荷を吊ったままにはしないでください。
●つり荷の下に入らないでください。
●使用に際しては、取扱説明書に基づき試運転を行ってください。
ここに示した注意事項は、ほんの一部です。詳しくは、製品に付属の取扱説明書に記載された注意事項を必ずお守りください。
なお、ホイストは容量、使用形態によりクレーンに該当しない場合もありますが、「クレーン等安全規則」などのクレーン関係法令を背景にご使用方法を定めております。

■点検の法的義務について

ホイストを使用する場合は、次の定期自主検査の実施と、検査記録の保存が義務付けられています。
●日常の点検、月例、年次の自主検査：
月例、年次自主検査記録の3年保存
保守点検で異常個所があったときは、そのまま使用せず直ちに補修してください。

■取扱説明書の必読

製品に付属の取扱説明書の内容を熟知したうえで、ご使用ください。

日立ホイスト
日立モートルブロック
登録制度

日立産機システムでは、日立ホイスト、日立モートルブロックをお買い求めいただいたお客様から所在地・担当部門などを登録して頂く「設置登録制度」をスタートさせております。お客様より返信されたハガキをもとにコンピュータへ登録し、ユーザーファイルを作成するとともに、今後のアフターサービスの貴重なデータとして活用させて頂く予定ですので、よろしくご協力の程、お願い申し上げます。

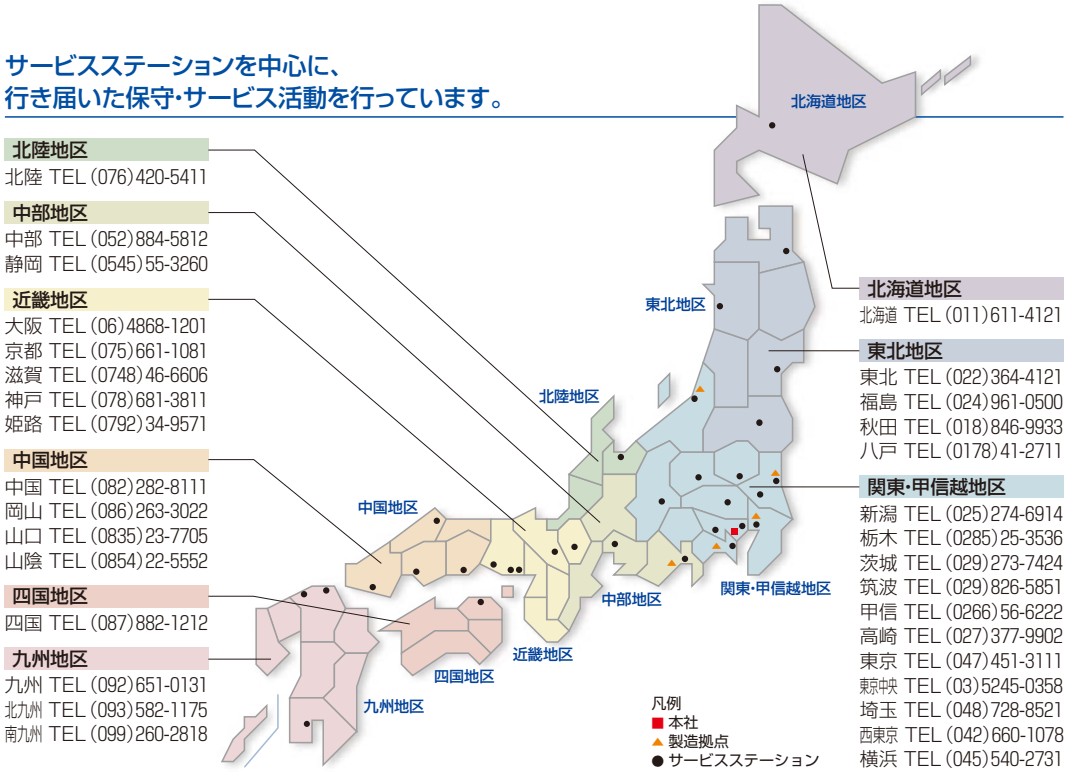
環境・省エネに貢献する

株式会社 日立産機システム

お問い合わせ営業窓口

本社・営業統括本部	〒101-0022	東京都千代田区神田練塀町3番地（AKSビル）	TEL (03)4345-6045
北海道支社	〒063-0814	札幌市西区琴似四条一丁目1番30号	TEL (011)611-1224
東北支社	〒985-0843	多賀城市明月二丁目3番2号	TEL (022)364-2710
福島支店	〒963-8041	郡山市富田町字町西32番2	TEL (024)961-0500
関東支社	〒101-0022	東京都千代田区神田練塀町3番地（AKSビル）	TEL (03)4345-6057
茨城支店	〒312-0063	ひたちなか市田彦字二本松1646番地2	TEL (029)273-7424
横浜支店	〒223-0057	横浜市港北区新羽町760番1号	TEL (045)540-2731
新潟支店	〒950-0892	新潟市東区寺山二丁目1番5号	TEL (025)274-6914
甲信支店	〒392-0012	諏訪市大字四賀2408番2	TEL (0266)56-6222
北陸支社	〒939-8205	富山市新根塚町一丁目4番43号	TEL (076)420-5711
中部支社	〒456-8544	名古屋市熱田区桜田町16番17号	TEL (052)884-5826
静岡支店	〒417-0034	富士市津田261番18号	TEL (0545)55-3260
関西支社	〒660-0806	尼崎市金楽寺町一丁目2番1号	TEL (06)4868-1211
京滋支店	〒601-8141	京都市南区上鳥羽卯ノ花62番地	TEL (075)661-1081
四国支店	〒761-8012	高松市香西本町142番地5	TEL (087)882-1192
中国支社	〒735-0029	安芸郡府中町茂陰一丁目9番20号	TEL (082)282-8112
山口支店	〒747-0822	防府市勝間三丁目9番17号	TEL (0835)23-7705
九州支社	〒812-0051	福岡市東区箱崎ふ頭五丁目9番26号	TEL (092)651-0141
エンジニアリング事業推進本部	〒101-0022	東京都千代田区神田練塀町3番地（AKSビル）	TEL (03)4345-6023
海外営業企画部	〒101-0022	東京都千代田区神田練塀町3番地（AKSビル）	TEL (03)4345-6529

サービスステーションを中心に、行き届いた保守・サービス活動を行っています。



北陸地区
北陸 TEL (076)420-5411

中部地区
中部 TEL (052)884-5812
静岡 TEL (0545)55-3260

近畿地区
大阪 TEL (06)4868-1201
京都 TEL (075)661-1081
滋賀 TEL (0748)46-6606
神戸 TEL (078)681-3811
姫路 TEL (0792)34-9571

中国地区
中国 TEL (082)282-8111
岡山 TEL (086)263-3022
山口 TEL (0835)23-7705
山陰 TEL (0854)22-5552

四国地区
四国 TEL (087)882-1212

九州地区
九州 TEL (092)651-0131
北九州 TEL (093)582-1175
南九州 TEL (099)260-2818

北海道地区
北海道 TEL (011)611-4121

東北地区
東北 TEL (022)364-4121
福島 TEL (024)961-0500
秋田 TEL (018)846-9933
八戸 TEL (0178)41-2711

関東・甲信越地区
新潟 TEL (025)274-6914
栃木 TEL (0285)25-3536
茨城 TEL (029)273-7424
筑波 TEL (029)826-5851
甲信 TEL (0266)56-6222
高崎 TEL (027)377-9902
東京 TEL (047)451-3111
埼玉 TEL (048)728-8521
西東京 TEL (042)660-1078
横浜 TEL (045)540-2731

http://www.hitachi-ies.co.jp

信用と行き届いたサービスの当社へ

登録番号:JACO-EC99J2009
登録日:1996年7月22日

日立産機システム省力システム事業部（多賀地区）は、環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001の認証を取得しています。

登録番号:JQA-QMA12087
登録日:2005年4月1日

日立産機システム省力システム事業部（多賀地区）は、本カタログに掲載されているホイスト・モートルブロックの品質保証に関する国際規格ISO9001の認証を取得しています。

●このカタログに掲載した内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

SH-229Q 2014.11
Printed in Japan(H)